

# コーパス分析システムを活用した作文指導の可能性

本間 妙・山本 裕子 (愛知淑徳大学)

## 1. 研究の目的

作文指導において：問題箇所の指摘だけでなく、個人の誤用の傾向やクラス全体に共通する問題を把握することは重要

自身が指導する学習者の作文の分析、研究 (楊帆2014他)  
→手作業で多大な労力を要する  
大量の学習者の作文データをコーパス化 (I-JAS他)  
→個々の学習者の傾向を把握した指導には生かせない

指導中の学習者の作文に見られる誤用を分析し、その結果を作文指導に活用する。またその効果を検証する。

## 2. 方法

ツール：日本語分析システムCo-Chuを活用

自らが集めたオリジナルデータを取り込み、目的に応じてタグを付すことで、誤用など見たい箇所の分析が可能なツール

対象：交換留学生(JLPT N2レベル)4名 (学生A,B,C,D) の作文  
「指導前」32件(8件×4名)、「指導後」24件(6件×4名)  
実践授業：「非母語話者のためのアカデミック・ライティング」

表1「アカデミック・ライティング」の授業概要

	授業(週)	授業内容	授業での文章作成	*授業外での文章
指導前	1~6	アイデアの練り方、アウトラインの立て方、書き言葉・文体のルールなど	2回	春休みの宿題4 他の授業 2
指導	7	学生ごとに誤用傾向を示して指導		
指導後	8~15	テーマの絞り方、接続表現など	3回	他の授業3

ここまでの作文から誤用傾向を見いだして示した

誤用の分析方法：

作文に見られる全ての誤用にメタ情報としてタグを付す

適切な語形 | (タグ種目 実際に用いられた語形：タグメモ)

例：原文：中国で曖昧表現はほとんどないが、  
タグ付：中国語 | に | (誤) で：助詞で 曖昧表現はほとんどないが、

「誤用」の「誤」 助詞「で」の誤用であることを示す

誤用の種類は全部で18種類に分類

「ねじれ文」のような文レベルの誤用は別途メタ情報として付す

## 3. 学生への指導

「指導前」32件の作文から学生ごとに種類別に誤用を検索

誤用傾向を見いだして指導する項目を決定 (表2の黄色)

指導シート (図1) を作成し、シートを示しながら以後作文を書く際に気をつけるように指導

「だ・である体」で文章を書くときに気をつけましょう。 Aさんは以下のことが間違いやすいです。	「だ・である体」で文章を書くときに気をつけましょう。 Cさんは以下のことが間違いやすいです。
1. 助詞の脱落 (助詞を入れなければならないところに入れていない) ★Aさんは特に助詞「の」と助詞「に」の脱落に気をつけましょう。 ex. どうして使っていないのか納得できなかった。 ex. 親がそばにいるのとは違い、～ ex. 今までに自分が身につけた日本語とは少し違うと感じた。	1. 助詞 ★Cさんは特に助詞「に」で書くべきところを「で」にしてしまいます。 ex. 中国語に「(で)」曖昧表現はほとんどないが、日本語に「(で)」数多くある。 ex. 彼女から見れば、基本的「に」(で) 携帯電話は通信用具である。
2. 書きことば (うっかり話しことばを書かないように) ★Aさんは特に連用中止形にするのを忘れがちです。 ex. 勉強の種類と内容も好きに選べ (選べて)、好きな時間と場所を学べる。 ★Aさんがうっかり間違える話しことば ex. ぐらいい、でも、みたいに、いろいろな、～けど、そんな、ずっと、だんだん、ちょっと、コンビニ	2. 助詞の脱落 (助詞を入れなければならないところに入れていない) ★Cさんは特に助詞「の」と「に」の脱落に気をつけましょう。 ex. 初めての正式な日本語の授業の時「何かちょっと違うな」と感じた。 ex. 「明日、一緒にスーパーへ行くのはどう？」と聞いた時、～ ex. それ以外に、日本語の「深刻」は「厳しい、重大な」という意味であるが、中国語の「深刻」は「浅薄ではなく、深い意味がある」という意味であることもある。 ex. 次に、長い時間インターネットで勉強したら、視力が悪くなる。(まず、次に、最後に)
3. 時制 (文の中や文末の時間を意識しましょう) ★Aさんは「～た」で書くべきところを「～る」で書くことが多いです。 ex. ユーモアのある先生がいた (いる) おかげで、勉強はそれほど大変ではなかった。 ex. 突然帰国を要請された日からの間、愚痴ばかりを言っていることもあった (ある)。	3. 書きことば (うっかり話しことばを書かないように) ★Cさんがうっかり間違える話しことば ex. とても、ちゃんと、全部、いっぱい、～って、一番、もった、だから、どんな、もう、みたい、そんな、ずっと、だんだん、ちょっと、とても、みんな、携帯、ネット
4. ねじれ文 ★Cさんは文のはじめと終わりが対応していない「ねじれ文」を書いてしまいがちです。ねじれ文を書いていないかどうか、文章を書いたあと何度も読み返して確認しましょう。 ex. ×中国語と日本語の共通点は両方とも漢字がある。 →○中国語と日本語の共通点は両方とも漢字があることである。 ex. ×グーグルマップで最も近い店を探し、家から歩いて30分くらいのところにある店があった。 →○グーグルマップで最も近い店を探すと、家から歩いて30分くらいのところにある店があった。	4. ねじれ文 ★Cさんは文のはじめと終わりが対応していない「ねじれ文」を書いてしまいがちです。ねじれ文を書いていないかどうか、文章を書いたあと何度も読み返して確認しましょう。 ex. ×中国語と日本語の共通点は両方とも漢字がある。 →○中国語と日本語の共通点は両方とも漢字があることである。 ex. ×グーグルマップで最も近い店を探し、家から歩いて30分くらいのところにある店があった。 →○グーグルマップで最も近い店を探すと、家から歩いて30分くらいのところにある店があった。

図1 学生Aと学生Cの指導シート

誤用例は全て、各自の作文中に出現した実例を使用

## 4. 結果

### 1) 指導前と指導後の誤用数

表2 指導前の作文に出現した学生A,B,C,Dの種類別誤用の数

	助詞	助詞脱落	助詞過剰	語選択	活用	時制	態	表記	*書	*敬	*体	語脱落	*SV不要	*SV必要	接続	並列	漢字	不要な語	ねじれ文	総語数		
A	6	2	27	16	3	34	5	16	2	7	38	1	1	11	2	5	2	2	1	3	8	2446
B	35	1	22	9	2	79	11	2	8	9	52	0	6	15	6	2	2	0	2	1	8	2170
C	4	6	14	17	1	49	8	4	0	0	42	1	1	13	2	2	2	0	2	0	12	2650
D	9	0	18	2	1	47	8	4	4	0	46	4	1	13	2	3	6	0	0	4	28	1985

表3 指導後の作文に出現した学生A,B,C,Dの種類別誤用の数

	助詞	助詞脱落	助詞過剰	語選択	活用	時制	態	表記	*書	*敬	*体	語脱落	*SV不要	*SV必要	接続	並列	漢字	不要な語	ねじれ文	総語数		
A	1	2	8	7	3	44	3	9	1	12	7	0	2	11	2	2	5	1	3	0	1	1774
B	7	1	35	16	3	87	11	10	2	8	29	0	4	21	4	9	6	5	2	12	6	2825
C	1	1	11	6	0	38	2	5	0	2	12	1	1	3	0	4	3	2	0	1	3	1422
D	2	1	7	3	0	24	1	0	0	2	19	0	0	2	2	1	1	1	0	1	2	2281

\*書：書き言葉のルール違反、敬：敬体になっている、体：だ・である体ができていない、SV：補助動詞  
黄色ハイライトが指導した項目

指導前と指導後の誤用数の差を「指導項目」と「非指導項目」について検定を行ったところ有意差が認められた

(指導前後の誤用数差の平均値：指導項目、.49%,非指導項目、.01%(3)=13.35,p=.001)

### 2) 学生の意識

次の質問に答えてください

1. レポートや小論文など、大学の授業で提出する文章を書くとき、どんなことに気をつけますか。  
話し言葉を使わずに書くように、時制と間違わないように書いたりします。  
2. 授業の中で「あなたが作文の中で間違いやすいもの」についてのファイルをもりました。  
①ファイルの説明は分かりやすかったですか。具体的に書いてください。  
②このファイルは役に立ちましたか。具体的に書いてください。  
③あなたが間違いやすいものに前まで詳しく書いてくださったところは分かりやすかったです。この作文を書くとき、もう一度それを見て注意して書きました。あるいは書く前に読んでから書きました。役に立ちました。  
3. アカデミック・ライティングの授業を受ける前と後で、変わったと思うことを書いてください。  
授業を受ける前に、書き言葉と話し言葉の違いがまったく知らなかったです。授業を受けた後は意識するようになった。また意味は同じだが、日本語では使わない文について練習しました。さらにアウトラインの書き方を学んだため、書いた文章が分かりやすくなり、短い文章しか書かなかった私も長い文章を書くようになりました。  
頭が浮かぶ考えを紙に書くことは苦手なため、最初はこの授業があまり好きではなかったです。しかし受けた後これほど成長が伸び、本当に心から受けて良かったと思いました。

次の質問に答えてください

1. レポートや小論文など、大学の授業で提出する文章を書くとき、どんなことに気をつけますか。  
話し言葉を使わず、書き言葉だけを使うことです。そして、論文の場合は読者が必要だと思います。  
2. 授業の中で「あなたが作文の中で間違いやすいもの」についてのファイルをもりました。  
①ファイルの説明は分かりやすかったですか。具体的に書いてください。  
②このファイルは役に立ちましたか。具体的に書いてください。  
③あなたが間違いやすいものに前まで詳しく書いてくださったところは分かりやすかったです。この作文を書くとき、もう一度それを見て注意して書きました。あるいは書く前に読んでから書きました。役に立ちました。  
3. アカデミック・ライティングの授業を受ける前と後で、変わったと思うことを書いてください。  
アウトラインなどのテクニックを習いました。さらに、文法や書き言葉も前より進歩しました。

次の質問に答えてください

1. レポートや小論文など、大学の授業で提出する文章を書くとき、どんなことに気をつけますか。  
文章の構成、話し言葉、トピックにビジュアルすること  
2. 授業の中で「あなたが作文の中で間違いやすいもの」についてのファイルをもりました。  
①ファイルの説明は分かりやすかったですか。具体的に書いてください。  
②このファイルは役に立ちましたか。具体的に書いてください。  
③あなたが間違いやすいものに前まで詳しく書いてくださったところは分かりやすかったです。この作文を書くとき、もう一度それを見て注意して書きました。あるいは書く前に読んでから書きました。役に立ちました。  
3. アカデミック・ライティングの授業を受ける前と後で、変わったと思うことを書いてください。  
書き言葉と話し言葉の違いが、今のように意識して書けなかった。話し言葉の誤用が減って来ました。接続詞の使い方が上手になりました。

図2 授業終了時のアンケート (左上から時計回りに学生ABDCの順)

### 授業終了時のアンケートから (「誤用の指導」に関するもの)

- 書き言葉を使うことを意識した (全員)
- どんな間違いをしているのかがよくわかった (全員)
- 指導シートに誤用の例文があってわかりやすかった (A, B, C)
- 書き言葉と話しことばを意識するようになった (A, C)
- 誤用が減った、進歩した (B, D)

### 授業終了時のフォローアップインタビューから (「誤用の指導」に関するもの)

- 「助詞脱落・書き言葉・時制」に特に注意した (A)
- 「だ・である体」を厳しく気をつけ、書いた後に確認した (B)
- 「助詞に・助詞で」を書く時に必ずよく考えて書いた (C)
- 「書き言葉」は一覧表を覚え、忘れたものは確認した (D)
- 作文を書く時「指導シート」を確認しながら書いた (全員)
- 作文を書いた後に、何度も見直すようになった (全員)
- 「時制」「語選択」の誤用は減らない、直しにくい (全員)

各自が指導された誤用項目を意識し、書いているとき、書いた後にも気をつけるようになった

## 5. まとめ

- 非指導項目と比べ、指導した項目について誤用を減らす一定の効果があった
- 授業後のアンケート、インタビューから、各自が間違いやすい項目を明確に意識したことがわかった
- システムの活用により、学生個人個人の誤用傾向を容易に把握できたことから、作文指導に活用できる可能性が窺える
- 「語選択」「時制」など、気をつけるだけでは減らせない誤用については、効果的な指導法を探る必要がある

付記：科学研究費(課題番号18K00723)の助成を受けています。  
参考文献・関連URL  
楊帆 (2014) 「中級日本語学習者の作文における困難点：文構造の呼応関係について」『秋田大学国際交流センター紀要』Vol.3, pp.15-28  
I-JAS多言語母語の日本語学習者横断コーパス <https://chunagon.ninjal.ac.jp/static/ijas/about.html>  
コーパス分析システムCo-Chu <https://cochu.org>